

(4) 知識情報・図書館学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GA14111	知識情報概論	1	1.0	1	春AB	金5		宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を説明する学問である。	(GA14121)の単位修得済みの者は履修不可。専門導入科目(事前登録対象) 2018年度までのGE10101「知識情報概論」を修得済みの者は履修不可
GA14121	知識情報概論	1	1.0	1	秋AB	木4	2H101	宇陀 則彦	知識情報・図書館学類を理解するために、図書館情報学から知識情報学への歴史的展開について説明し、知識共有に関連する諸概念を解説する。知識は何かに記録し、保存しなければすぐに消えてしまう。今この瞬間にも知識は生まれ、消えていく。記録された知識だけが時間と空間を超えられる。人々が知識を共有し、新しい知識を形成していくという現象は人間社会の普遍的営みである。知識情報学は記録を介した知識共有現象を説明する学問である。	(GA14111)の単位修得済みの者は履修不可。専門導入科目(事前登録対象) 2018年度までのGE10101「知識情報概論」を修得済みの者は履修不可
GA14201	知識情報システム概説	1	1.0	1	春AB	金6		高久 雅生, 佐藤 哲司, 阪口 哲男, 鈴木 伸崇	ネットワーク社会における知識の構造化、提供、共有のための枠組みについて講義する。	専門導入科目(事前登録対象)
GE10201	哲学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	ユニオン講義室	横山 幹子	西洋哲学の歴史を概観し、哲学史に関する基礎的な知識を習得することを目指す。論理学の基本的な考え方にも触れる。そして、それらを学ぶことを通じて、「考えること」の意味と重要性について考える契機を与える。	
GE10632	プログラミング演習I	2	2.0	1	秋AB	木5,6	1D301-1	松村 敦	プログラミング言語Pythonを題材に、基礎的なプログラミングの講義と実習を行う。	知識学類生に限る 情報科免許希望者(1,2クラス)は「プログラミング入門」に替えて、本科目および「プログラミング演習IA」(GE10652)の2科目を履修すること。 2018年度以前入学者および2020年度以前編入学者対象。
GE10642	プログラミング演習I	2	2.0	1	秋AB	木5,6	学術情報メディアセンター B206	時井 真紀	プログラミング言語Pythonを題材に、基礎的なプログラミングの講義と実習を行う。	知識学類生に限る 情報科免許希望者(3,4クラス)は「プログラミング入門」に替えて、本科目および「プログラミング演習IA」(GE10662)の2科目を履修すること。 2018年度以前入学者および2020年度以前編入学者対象。
GE10652	プログラミング演習IA	2	1.0	1	秋C	木5,6	1D301-1	松村 敦	プログラミング言語Pythonを題材に、基礎的なプログラミングの講義と実習を行う。	知識学類生に限る 情報科免許希望者(1,2クラス)は「プログラミング入門」に替えて、本科目および「プログラミング演習I」(GE10632)の2科目を履修すること。
GE10662	プログラミング演習IA	2	1.0	1	秋C	木5,6	学術情報メディアセンター B206	時井 真紀	プログラミング言語Pythonを題材に、基礎的なプログラミングの講義と実習を行う。	知識学類生に限る 情報科免許希望者(3,4クラス)は「プログラミング入門」に替えて、本科目および「プログラミング演習I」(GE10642)の2科目を履修すること。
GE10732	プログラミング演習II-3	2	2.0	1	春C	月・木5,6		大澤 文人	実践的プログラミング技術を身につける。ファイル入出力、テキストデータやマルチメディアの処理など実データを扱うプログラムを作成する。最終的に問題解決手段としてのプログラム能力を得ることを目標とする。	知識学類生に限る
GE10811	情報数学	1	2.0	1	春AB	木5,6		若林 啓	本授業では、情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ。中でも特に重要な概念である集合、論理、写像、関係、グラフ、ベクトル、行列を取りあげ、その基礎的な事項について講義する。また、講義内容に対する理解を深めるため、演習も行う。	知識学類生に限る。 数学科免許希望者はGE10811「情報数学」を履修すること。 GA15141と同一。 GE10801「情報数学」を修得済みの者は履修不可
GE10911	統計	1	2.0	2	春AB	月1,2		松本 紳	数理統計学の基礎を講義する。内容は、統計の意味、代表値、確率、母集団と標本、正規分布、統計的推定、仮説検定の考え方などである。	
GE11012	知識情報演習I-1	2	2.0	2	春AB	火1,2		呑海 沙織, 阪口 哲男	メタデータ(図書館目録、ダブルリンクなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,2クラス対象。 実務経験教員履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE11022	知識情報演習I-2	2	2.0	2	春AB	水1,2		香海 沙織, 鈴木 伸崇	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識3,4クラス対象。実務経験教員履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11112	知識情報演習II-1	2	2.0	2	春C秋A	火1,2	7A102, 7C102	原 淳之, 芳鐘 冬樹	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識1,2クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11122	知識情報演習II-2	2	2.0	2	春C秋A	水1,2	7A102, 7C102	原 淳之, 上保 秀夫	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識3,4クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11212	知識情報演習III-1	2	2.0	2	秋BC	火1,2	7C102	小泉 公乃, 上保 秀夫	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,2クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11222	知識情報演習III-2	2	2.0	2	秋BC	水1,2	7C102	池内 淳, 于 海濤	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識3,4クラス対象。履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11542	専門英語A-4	2	1.5	2	通年	水4	7A104	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	2018年度以前入学および2020年度以前編入学対象。
GE11612	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水3		長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11712(秋ABC水3)とセットで履修すること
GE11622	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水3		ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11722(秋ABC水3)とセットで履修すること
GE11632	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水4		長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11732(秋ABC水4)とセットで履修すること
GE11712	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水3	7A103	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11612(春ABC水3)とセットで履修すること
GE11722	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水3	7A104	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11622(春ABC水3)とセットで履修すること
GE11732	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水4	7A103	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11632(春ABC水4)とセットで履修すること
GE12112	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	7A203, ユニオン講義室	鈴木 佳苗	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年1クラスと2年次以上対象。知識学類生に限るGDP「情報リテラシ実習」(1320013, 1320023, 1320033, 1320043)を修得済みの者は履修不可
GE12122	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	7A204, ユニオン講義室	小泉 公乃	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年2クラス対象。知識学類生に限るGDP「情報リテラシ実習」(1320013, 1320023, 1320033, 1320043)を修得済みの者は履修不可
GE12132	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	7A206, ユニオン講義室	加藤 誠	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年3クラス対象。知識学類生に限るGDP「情報リテラシ実習」(1320013, 1320023, 1320033, 1320043)を修得済みの者は履修不可
GE12142	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	7A207, ユニオン講義室	于 海濤	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年4クラス対象。知識学類生に限るGDP「情報リテラシ実習」(1320013, 1320023, 1320033, 1320043)を修得済みの者は履修不可

専門基礎科目(選択)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE20211	基礎数学A	1	2.0	1					解析学の基礎として、実数、関数、数列ならびに連続性や極限などの基本概念と、1変数関数の微分法および積分法について講義を行う。	2020年度開講せず。
GE20401	量的調査法	1	2.0	2	秋AB	木3,4	7A103	叶 少瑜	質問紙調査の企画、標本抽出の方法、調査票の設計、調査の実施、作表とグラフ化、クロス集計と仮説検定など、質問紙調査と分析のための知識を講義する。	
GE20511	多変量解析	1	2.0	2	秋C	月・木3,4	7A103, 7C102	大澤 文人	データ解析の基礎として、重回帰分析や主成分分析、判別分析など基礎的な多変量解析手法を演習付きで講義する。	知識学類生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE20601	情報探索論	1	2.0	2	春AB	木5,6		辻 慶太	情報探索のための情報の蓄積・更新、情報探索の基本的な方法・理論および情報探索のプロセスについて、利用者の探索行動の特性および情報要求と関連づけながら学ぶ。	
GE20701	質的調査法	1	2.0	2	春AB	木3,4		照山 絢子	この授業では、社会学・文化人類学における質的調査の柱であるエスノグラフィ(参与観察とインタビュー)に焦点を当てて、そのさまざまなアプローチを概観する。質的調査に基づいて書かれた文献に多く触れることで理論の応用方法を学ぶ。	
GE20801	情報行動論	1	2.0	2	秋C	火・金5,6	7A205	松林 麻実子	情報の獲得と発信に関連する認知的、行動的、社会的諸要素の理解と、情報獲得のための行動様式等について学ぶ。	
GE20901	知識発見基礎論	1	2.0	2	春C	月5,6 木1,2		中山 伸一	ヒューリスティクスを利用して知識や問題を発見する技法である創造性開発技法を実践的に学ぶ。	
GE21001	知識資源組織化論	1	2.0	2	春AB	月3,4		高久 雅生	知識資源の効果的かつ効率的な利用を目的として行われる、情報の分析、記述に基づく知識資源の組織化に関する基本的な考え方を学ぶ。	
GE21101	データベース概説	1	2.0	2	春AB	木1,2		佐藤 哲司	データベース技術の基礎概念を学ぶ。具体的には、データベースの定義と種類、データモデリングの考え方、リレーショナルモデルの基礎、データベース管理システム(DBMS)の基本機能、データベース設計と管理などを、講義と演習を通じて学ぶ。	
GE21201	コンピュータシステムとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	月3,4	7A205	阪口 哲男	現代社会で欠かせないコンピュータシステムとネットワークについての基本構成と動作原理を学ぶ。ハードウェア、ソフトウェアの各構成要素、システム間のデータ送受の基本的な手順と通信規約の役割を解説し、それらを総合した応用等についても概説する。	
GE21301	自然言語解析基礎	1	2.0	2	秋AB	月1,2	7A205	関 洋平	人間の日常言語の内容を計算機で解析する自然言語解析は、機械翻訳、Web 検索、対話システム、質問応答、音声認識、仮名漢字変換などで実用的な成果をあげている。本講義は、自然言語処理の概要、形態素解析、言語モデル、構文解析、意味解析など自然言語解析の基礎理論を幅広く講義する。	
GE21401	メディア社会学	1	2.0	2	春AB	火3,4		後藤 嘉宏	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。哲学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェーバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るか論じる。	GC20101と同一。 創成学類生はGC20101、それ以外の学生はGE21401を履修すること
GE21601	公共経済学	1	2.0	2	秋C	月・木5,6	ユニオン講義室	池内 淳	本講義は、1)経済学の概要、2)ミクロ経済学の基本的な概念、3)公共経済学の3部構成です。1)では、経済学の学説史的系譜を学習し、経済学の現在の意義を理解します。2)では、消費者の理論・生産者の理論・市場均衡・余剰分析といったミクロ経済学の基礎的概念について講義と演習を行います。3)では、市場が失敗する諸条件と、その対処法について解説します。	
GE21701	生涯学習と図書館	1	2.0	2	春AB	月5,6		溝上 智恵子	生涯学習の意義、関連法と社会教育行政、生涯学習施設の運営、他機関との連携、海外の生涯学習の動向について概説する。図書館における生涯学習の支援の在り方について、国内と海外の事例を幅広く学ぶ。	実務経験教員
GE21812	テキスト解釈-1	2	2.0	2	秋AB	木5,6	7A208	白井 哲哉	主に江戸時代の古文書を対象に、テキストの音読・翻刻・解釈の技術に関する基礎的なトレーニングを行い、紙媒体文字メディアの調査研究の方法を理解する。	実務経験教員
GE21832	テキスト解釈-3	2	2.0	2	秋AB	木5,6	7A102	綿拔 豊昭	テキストの解釈を通じて、言語および意味の視点から、メディアの読解に関する基礎的なトレーニングを行う。	
GE22101	経営・組織論	1	2.0	2	春AB	金5,6		大庭 一郎	この講義では、図書館の経営や情報システムの構築に必要な、経営概念、経営管理、意思決定、組織、人間行動等についての基礎を概説する。経営管理機能は、一般に人々が共通の目標を達成するために協同で活動する場合に、常に存在する機能である。そこで、この講義では、経営管理一般についての入門的解説に重点を置いて講義を展開し、あわせて、経営管理論の視点から図書館や情報システムのとらえ方について解説する。	
GE22201	機械学習	1	2.0	2	秋AB	水5,6	ユニオン講義室	梅本 和俊	現在の人工知能の進歩を支える機械学習について講義と演習を行う。教師あり学習および教師なし学習を主な対象として、それらの代表的なアルゴリズムについて学ぶ。機械学習システムを適切に開発・利用するための方法論にも触れる。	
GE22301	映像メディア概論	1	2.0	2	秋C	月・木1,2		辻 泰明	映像コンテンツのデジタル化が進み、その利活用が盛んになるに従い、映像メディアに対する知識と理解が強く求められるようになってきている。この講義では、広い意味での情報学としての観点から映像メディアをとらえて、その歴史と現状について幅広く概観し、メディアとしての特性を考察する。また、映像コンテンツにおける文法、構成、類型について解説し、その利活用にあたって、必ず身につけておくべき映像リテラシーの基本を教授すると共に、映像コンテンツのアーカイビングにおける課題についても検討する。	2018年度までの映像メディア論(GE82501、GC54401)を修得済みの者は履修不可 GC27801と同一。 実務経験教員 情報メディア創成学類生はGC27801を、それ以外の学生はGE22301を履修すること
GE22401	情報数学B	1	2.0	2	秋AB	月3,4	7A106	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での実現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	情報メディア創成学類生はGC21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学11(GC21201)の単位を修得した者の履修は認めない。 GC21501と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
GE22501	システム思考		1	2.0	2	秋AB	木1,2	7A101	真栄城 哲也	システム思考は、対象物や現象を、複数の要因のつながりとして捉え、要因間の相互作用を理解することを目的とする。問題の見えている部分を近視眼的・表面的に捉えるのではなく、全体像を様々な要素のつながりとして理解し、問題の本質を明らかにする。 対象物や現象が、複数の要素から構成され、全体の性質が要素間の相互作用によって決定付けられると捉える視点の考え方や方法論、デザインについて解説する。また、手法の習得のための演習を行う。応用対象として自然界と社会の両者を扱う。	

専門基礎科目(自由)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
GE32053	知的探求の世界II-5		3	1.0	3				【ソースコード講読2】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦奇数年度開講。
GE32063	知的探求の世界II-6		3	1.0	3	春ABC 秋A	応談	森嶋 厚行	ビッグデータ、機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます。これらを組み合わせ、人手だけ、もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます。また、卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます。	西暦偶数年度開講。
GE33053	知的探求の世界I-5		3	2.0	2	通年	応談	阪口 哲男	【ソースコード講読1】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦偶数年度開講。
GE33063	知的探求の世界I-6		3	2.0	2				ビッグデータ、機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます。これらを組み合わせ、人手だけ、もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます。また、卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます。	西暦奇数年度開講。

専門科目(学類共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
GE40201	学習指導と学校図書館		1	2.0	3	秋C	月3-6	7A205	野口 久美子	学校図書館と学校図書館メディアを効果的に活用する学習指導計画の立案、実施、評価、及び教師や児童・生徒に対する支援の在り方等の基本的事項について解説し、学校図書館における情報リテラシー育成等のための学習指導の在り方等について理解を図る。	
GE40301	学校図書館メディアの構成		1	2.0	3	秋AB	金1,2	7A205	三波 千穂美	学校図書館メディアおよび専門職としての司書教諭を理解し、学校図書館メディアを用いた学校教育活動の支援に関する認識を深め、多様なメディアを扱うことを可能とする、実際的な知識と技術を学ぶ。	履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE40401	読書と豊かな人間性		1	2.0	3	春AB	金5,6		鈴木 佳苗	児童・生徒の読書の現状や読書の影響について理解し、発達段階に即した読書教育の理念と方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は、初回に受講調整。初回の授業を欠席する場合は、事前に必ず連絡してください(受講調整を行う場合には、初回の欠席の連絡がないと履修できない可能性があります)。
GE40501	情報メディアの活用		1	2.0	3	秋AB	火3,4	7A103	大澤 文人	活字メディア、視聴覚メディア、教育用ソフトウェア、ネットワーク上の情報資源等多様な情報メディアの特性を踏まえて、それらを教育現場で活用していく方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は初回に受講調整
GE40603	インターンシップ		3	2.0	3	夏季休業中	集中	学外	吉田 右子, 大澤 文人, 松林 麻実子, 村井 麻衣子	図書館や企業などの職場における就業経験を通して、知識や情報と職業の関わり、知識や情報に関わる職業人としてのあり方を理解する。知識や情報と社会の関係、情報化、情報倫理、情報技術に加え、職業倫理、職業観、勤労観などを、職場での体験から学ぶ。	本科目の履修は原則として3年次生以上に限る。 知識学類生に限る GDP 受講生は学研災付帯階AコースまたはBコースへの加入必須。
GE40703	国際インターンシップ		3	2.0	3・4	通年	応談	学外	長谷川 秀彦, 原 淳之, 照山 絢子, パーリュシェフ エドワルド	海外の図書館や情報センターにおいて、図書館・情報業務を経験する。	2020年度開講せず。 知識学類生に限る GDP
GE42002	国際学術演習A		2	1.0	1-4	通年	応談		知識情報・図書館学類長	筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口申し出ること。 知識学類生に限る G科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
GE42102	国際学術演習B	2	1.0	1 - 4	通年	応談		知識情報・図書館学類長	筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口申し出ること。知識学類生に限るG科目
GE50712	専門英語B-1	2	1.0	3	春AB	月4		芳鐘 冬樹	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力を専門書の講読等を通じて習得する。図書館情報学分野の英語で書かれた学術雑誌の論文を教材として用いる。学術論文は特有の構成を持つ文章であるため、まずそれを踏まえた理解の方法について解説する。授業は、毎回、各自、指定された論文を読み、担当者が内容を発表する輪読形式をとる。英語の文章を漫然と読んで「頭の中で分かったつもりになるだけ」ということにならないよう、読んだ内容を論理的に整理して「日本語でまとめる(逐語訳である必要はない)練習と、それを他者に説明する練習を行う。授業の理解度の確認のため、数回簡単な小テストを実施する。	知識科学主専攻生対象。
GE50722	専門英語B-2	2	1.0	3	春AB	月4		サーカー サヤン	This course aims to make students familiar with academic English language based work practices, and to apply that knowledge to write research project reports. This course is designated for undergraduate students and it will be based on project and classroom activities.	英語で授業。知識情報システム主専攻生対象。
GE50732	専門英語B-3	2	1.0	3	春AB	月4		パールシエフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語能力を学術的な文書の講読や作文の練習等を通じて習得する。	情報資源経営主専攻生対象。
GE50812	専門英語C-1	2	1.0	3	秋AB	月4	7A103	干 海濤	学術論文の読解、ならび英語による発表を視聴することで、英語による読解力とプレゼンテーションスキルを習得する方法を学ぶ。	知識科学主専攻生対象。
GE50822	専門英語C-2	2	1.0	3	秋AB	月4	7A102	パールシエフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力や表現力を学術的なテキストの講読や作文の練習等を通じて習得する。	知識情報システム主専攻生対象。
GE50832	専門英語C-3	2	1.0	3	秋AB	月4	7A104	小泉 公乃	この授業では、はじめに、専門科目や卒業研究に必要な英文読解力を学術論文の精読を通じて習得する。そのうえで、英語による発表・議論の映像資料の聴解を通して、国際会議等でコミュニケーションをするための基礎的な力を身に付けることを目指す。学術論文の精読では、主に図書館情報学分野を主題として扱う。英語による発表・議論の映像資料は、分野を問わず優良なものを扱う。	情報資源経営主専攻生対象。
GE50301	知識情報特論I	1	1.0	4	春AB	水3		知識学類4年次担任	学類4年次の学生を対象に、統一されたテーマの下、研究・開発の先端的トピックを複数の講師(学類担当教員、他学類担当教員、学外研究者等)が交替で論じる。テーマは年度ごとに設定する。	西暦偶数年度開講。知識学類生に限るGDP
GE50401	知識情報特論II	1	1.0	4	秋AB	水3	7A205	知識学類4年次担任	学類4年次の学生を対象に、統一されたテーマの下、研究・開発の先端的トピックを複数の講師(学類担当教員、他学類担当教員、学外研究者等)が交替で論じる。テーマは年度ごとに設定する。	西暦偶数年度開講。知識学類生に限るGDP
GE50501	知識情報特論III	1	1.0	4					学類4年次の学生を対象に、統一されたテーマの下、研究・開発の先端的トピックを複数の講師(学類担当教員、他学類担当教員、学外研究者等)が交替で論じる。テーマは年度ごとに設定する。	西暦奇数年度開講。知識学類生に限るGDP
GE50601	知識情報特論IV	1	1.0	4					学類4年次の学生を対象に、統一されたテーマの下、研究・開発の先端的トピックを複数の講師(学類担当教員、他学類担当教員、学外研究者等)が交替で論じる。テーマは年度ごとに設定する。	西暦奇数年度開講。知識学類生に限るGDP
GE51018	卒業研究	8	6.0	4	通年	随時		知識情報・図書館学類担当教員		知識学類生に限る
GE51028	卒業研究	8	6.0	4	春ABC	随時		知識情報・図書館学類担当教員		指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。知識学類生に限る
GE51038	卒業研究	8	6.0	4	秋ABC	随時		知識情報・図書館学類担当教員		指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。知識学類生に限る

専門科目(知識科学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
GE60103	知識科学実習	3	2.0	3	春AB秋AB	月5,6	7A208, 7C103	知識科学主専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学主専攻を構成する各領域の研究手法や技術を経験して主専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク(内容に応じて個人作業)で実習をすすめる。	
GE60201	テクニカルコミュニケーション	1	2.0	3・4	春AB	火5,6		三波 千穂美, 平湯 あつし	専門情報を正確にわかりやすく伝えることを意図した、文書の企画・構成・表現設計等に必要とされる知識・技術・考え方を、マニュアル制作などを題材に学ぶ。また、実際の専門職としてのテクニカルコミュニケーターの仕事や活動を演習を通して学ぶ。	履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整を行う。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE60501	知識論	1	2.0	3・4	春AB	火3,4		横山 幹子	知識の哲学の観点から、「知識」についての問題を取り扱う。知識の哲学における「知識」のとらえ方の歴史を踏まえた上で、「知識」についての現代の多様な考え方の一部を紹介する。	
GE60601	知識形成論	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	ユニオン講義室	辻 慶太	社会における知識の形成に寄与し、またテキストの形で表現・形成された知識そのものと言える辞書的な言語資源、即ち百科事典、国語辞書、専門用語辞書、シソーラス、オントロジー等について、その歴史や現状、意義や問題点、作成方法などを学習する。	
GE60701	レファレンスサイエンス	1	2.0	3・4	春AB	木3,4		上保 秀夫	This course is concerned with the phenomenon of information guiding. Guiding is a common form of knowledge sharing that can be found in our everyday life. This course studies the theories and applications relevant to effective information guiding.	英語で授業。 G科目
GE60801	学術メディア論	1	2.0	3・4	春AB	金3,4		松林 麻実子	学術コミュニティを対象として、情報の生産・流通・利用に関する学術情報流通モデル、学術情報メディア等を総合的に学ぶ。	
GE61001	コミュニティ情報論	1	2.0	3・4	秋AB	金3,4	7A104	歳森 敦	数量的なモデル・分析を通じて共同体における知識・情報の利用とそれにもとづく様々な活動について学ぶ。	
GE61101	図書館建築論	1	2.0	3・4	秋AB	水5,6	7A205	益子 一彦	図書館の役割と社会的使命を考察する。具体的には、図書館建築のサービス内容や利用者の行動に与える影響およびそれらを踏まえた計画手法を学ぶことにより、公共サービスの担い手である職員が自発的に場の形成に取り組めるようにする。	実務経験教員
GE61201	知識構造化法	1	2.0	3・4	秋C	火・金 1,2	7A103	中山 伸一	データを分析・評価する手法、およびそれから知識を創出するための手法を幅広く学ぶ。	
GE61301	情報評価	1	2.0	3・4	春AB	火1,2		芳鐘 冬樹	情報の生産、流通、蓄積、提供、利用の諸側面における情報評価の意義と方法論について、学術情報を中心に学ぶ。また、計量情報学的モデル・指標の基礎と、それらの情報評価への応用の実際についても幅広く学ぶ。	
GE61501	データマイニング	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	7A102, 7C103	長谷川 秀彦	大量のデータから未知の規則性を探し出すための手法として、相関ルール抽出、帰納学習などのデータマイニングの典型的な考え方や方法について学ぶ。	
GE61701	サイエンスコミュニケーション	1	1.0	3・4	春AB	月3		三波 千穂美	サイエンスコミュニケーションの背景、変遷、現状を紹介する。同時に、「論理」、「質疑応答」、「聞く力」、「議論」などに関する演習を通じて、コミュニケーション能力の獲得を目指す。	
GE61901	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1,2		関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原理、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE70501と同一。 知識科学専攻生はGE61901, それ以外の学生はGE70501を履修すること
GE62001	生命情報学	1	2.0	3・4	春AB	木5,6		真栄城 哲也	生命が持つ情報の側面（遺伝情報や脳活動、関係性ネットワーク）について学ぶ。さらに、近年の生物学の研究において、必須となっている情報学の考え方や手法を、関連する生命現象とともに学ぶ。	
GE62101	知識コミュニケーション	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	7A101	照山 絢子	前半においてはコミュニケーション学の理論的な基礎を概観し、後半は各論としてさまざまな角度からコミュニケーションの多様な形態と実践について考えていく。	
GE62201	メディア社会文化論	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	7A205	後藤 嘉宏	人間相互の結びつきを媒介するメディアが、人々の結びつきのあり方と、人間の知覚、認識、思考のあり方、さらには社会のあり方にどのように関わり、メディアの展開が人間と社会のあり方にどのような変容をもたらすかについて学ぶ。	
GE62301	ソーシャルメディア分析	1	2.0	3・4	秋AB	水1,2	7A101	叶 少瑜	ソーシャルメディアの概念と現状、その使用による影響・分析手法などについて論じる。	
GE62401	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	7A103	于 海濤	Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GE72701と同一。 英語で授業。 G科目 知識情報システム専攻生はGE72701, それ以外の学生はGE62401を履修すること

専門科目(知識情報システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE70103	知識情報システム実習	3	2.0	3	春AB 秋AB	月5,6	— 7B206, 7C102	知識情報システム専攻担当教員	知識情報システム専攻の専門科目に関連した実習を行う。	
GE70201	情報サービスシステム	1	2.0	3・4	春AB	火3,4		松村 敦	高度情報化社会の情報提供サービスの将来像に関して、求められる情報サービスと技術を、オリジナル情報提供者、キャリア、利用者などそれぞれの立場から学ぶ。	
GE70301	デジタルドキュメント	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	ユニオン講義室	高久 雅生	デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GC53401と同一。 実務経験教員 情報メディア創成学類生はGC53401を、それ以外の学生はGE70301を履修すること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE70401	デジタルライブラリ	1	2.0	3・4	春AB	木3,4		宇陀 則彦	デジタルライブラリの誕生から図書館サービスとして定着するまでの流れを説明し、学術情報基盤を前提としたデジタルライブラリの機能について考察する。また、デジタルアーカイブやデジタルミュージアムとの違いについても論じる。	
GE70501	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1,2		関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原理、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE61901と同一。知識科学専攻生はGE61901、それ以外の学生はGE70501を履修すること
GE70601	Webプログラミング	1	2.0	3・4	春AB	木1,2		阪口 哲男	インターネットでは、Webの機構を用いて様々な情報提供や取引、人や組織間のコミュニケーションが行われている。Web上で情報提供やコミュニケーションの機能を実現するための、サーバ側プログラミングの基本原理と実際、セキュリティ問題などを解説し、事例を紹介する。実習を含む。	
GE70701	マルチメディアシステム	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	7A101	松本 紳	マルチメディア工学の基礎、デジタル情報の編集加工、マルチメディア表現などを講義と実習を通じて学ぶ。また、技術面だけでなくマルチメディアサービスと社会の関連についても学ぶ。	
GE70801	データ表現と処理	1	2.0	3・4	春AB	金3,4		鈴木 伸崇	XMLなどの文書データの表現と処理について概説する。具体的には、XMLデータとそのスキーマ言語、電子書籍(E PUB)、XMLと関係モデルとの関連、XPathによるXMLデータの検索・加工などについて説明する。	
GE70901	データベース技術	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	7A102, 7C103	森嶋 厚行	データベースシステムを実際に構築する際の諸技術と必要知識について、リレーショナルデータベースを主な対象にして、APIをとおしたアプリケーションとの連携、スキーマ定義、インデックスの利用と効果などを、演習を交えながら学ぶ。	
GE71001	情報デザインとインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	火5,6		時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	情報科免許希望者は本科目に替えてGE71011を履修すること。
GE71011	情報デザインとインタフェース	1	1.0	3・4	春A	火5,6		時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	情報科免許希望者はGE71001に替えて本科目を履修すること。
GE71101	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5,6		高橋 伸, 古川 宏	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの原理、インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し、これらの考え方にもとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目 BC12671, GB40301と同一。
GE71501	クラウドコンピューティング	1	2.0	3・4					本講義では、高可用なWebサービス、大規模データベースの管理、ビッグデータの処理といった新しい情報インフラを支える分散コンピューティングの原理について学ぶ。また、このようなクラウドコンピューティング技術によって扱うことが可能になったビッグデータを活用するための機械学習の手法と原理について学ぶ。	2020年度開講せず。
GE71701	テキスト処理	1	2.0	3・4	秋AB	水1,2	7A103, 7C103	佐藤 哲司	電子出版、ウェブでの情報発信など、デジタル化によって書籍の出版・流通・利用の形態が大きく変容してきている状況を踏まえて、編集や検索など、テキストを有効活用するために必要となるテキスト処理技術について、基本となる処理の概念とアルゴリズム、更には、具体的な応用について理解を深める。	
GE71901	マークアップ言語	1	2.0	3・4	春AB	月1,2		永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML(Extensible Markup Language)の基礎とXSLT(XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また、理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GC51901と同一。受講人数は70人程度を上限とする
GE72001	ソフトウェア工学	1	2.0	3・4					規模の大きいソフトウェアを設計・構築するためのソフトウェア開発方法論とその代表的な一例であるオブジェクト指向について講義する。	2020年度開講せず。
GE72101	経営情報システム論	1	2.0	3・4	秋学期	集中		岩丸 良明	企業や組織を効率的に運営するための情報システムと電子政府のための情報システムについて学ぶ。	GE80401と同一。 開講日程は後日周知します。 実務経験教員 知識情報システム専攻生はGE72101、それ以外の学生はGE80401を履修すること
GE72201	アーカイブズの利用	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	7A102	パールシエフ エドワルド	アーカイブズと市民社会との深い関連性に注目しながら、アーカイブズ学の出現とその歴史的な変容プロセス、世界各国の記録保存施設の特徴とその多様性を形容すると同時に、アーカイブズの構築やその内面的な構造、保存記録の存在の在り方とその利用方法等について幅広く論じる。	GE82401と同一。 情報資源経営専攻生はGE82401、それ以外の学生はGE72201を履修すること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE72301	アーカイブズの構築	1	2.0	3・4	春AB	木5,6		白井 哲哉	日本アーカイブズ学の概説を論じる。アーカイブズ資料=記録資料(古文書・公文書等)、アーカイブズ施設(文書館・公文書館)につき、それらの意義と機能、歴史と現在を学ぶ。なお大災害とアーカイブズをめぐる問題を重視する。	GE82201と同一。実務経験教員 知識情報システム専攻生はGE72301,それ以外の学生はGE82201を履修すること
GE72501	メディアアート	1	2.0	3・4	秋C	火・金 3,4		落合 陽一	メディア装置の発明を伴う芸術活動が近年盛んに行われるようになってきている。文化的表現の手法として計算機科学や応用物理や生物などの工学的発明を伴った表現について国内外で注目が集まりつつある。本講義では、メディア技術史とメディア表現技術を概観し、斬新な表現方法について考察する。	履修希望者が30名を超える場合は受講調整。制作課題のための材料費は一部自己負担有り、詳細はシラバス参照のこと
GE72601	Human-computer Interaction	1	2.0	3・4	秋C	月・木 3,4	7A101	サーカー サヤン	This course introduces basic concepts in the theory and practice of Human-Computer Interaction (HCI). The course will help students acquiring knowledge about fundamental principles, techniques, and methods for designing, prototyping, and evaluating user interfaces. We will follow software system development approaches in order to design and evaluate real-world user interfaces.	英語で授業。G科目
GE72701	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	7A103	于 海濤	Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GE62401と同一。英語で授業。G科目 知識情報システム専攻生はGE72701,それ以外の学生はGE62401を履修すること
GE72801	知識資源の分類と索引	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	7A101, 7C102	加藤 誠	本講義では、大量の知識資源の中から特定の主題に関する知識資源を容易に見出せるようにするための方法として、分類および索引について講述する。前半では、代表的な分類法の紹介と共に、分類の基本的な事項について説明する。後半では、統制語や自由語による索引法について述べる。また、分類と索引の自動化についても触れ、Web上の知識資源への応用についても紹介する。	初回は7A101に集合。
GE72901	数式処理システム論	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	7A104	森継 修一	GC21201「情報数学II」で学んだ情報系数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数系の計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	GC54801と同一。
GE73001	情報デザインとインタフェースB	1	1.0	3・4	春B	火5,6		時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	履修要件:GE71011 情報デザインとインタフェースを履修していること

専門科目(情報資源経営)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE80103	情報資源経営実習	3	2.0	3	春AB 秋AB	月5,6	— 7A102, 7C102	情報資源経営専攻担当教員	情報資源経営専攻の専門科目に関連した実習を行う。	
GE80201	図書館論	1	2.0	3・4	秋AB	火1,2	7A105	原 淳之	本講義では、図書館というものを、読書・読者との関係、国際比較、近現代など、いくつかの角度から取り上げて考える。それらを通して、文化的、社会的環境において図書館を理解するために役立つ基本的な概念や研究などを紹介する。	
GE80301	学術情報基盤論	1	2.0	3・4	春C	火・金 1,2		逸村 裕	大学における教育研究活動と学術情報流通のしくみを踏まえ、大学図書館の役割・機能、大学図書館の諸活動、ネットワーク、経営管理等について総合的に学ぶ。	実務経験教員
GE80401	経営情報システム論	1	2.0	3・4	秋学期	集中		岩丸 良明	企業や組織を効率的に運営するための情報システムと電子政府のための情報システムについて学ぶ。	GE80401と同一。 開講日程は後日周知します。 実務経験教員 知識情報システム専攻生はGE72101,それ以外の学生はGE80401を履修すること
GE80501	情報サービス経営論	1	2.0	3・4	春AB	水1,2		池内 淳	図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障壁者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説します。	
GE80801	情報サービス構成論	1	2.0	3・4	秋AB	金3,4	7A103	大庭 一郎	レファレンスサービスは、図書館や情報サービス機関等において、情報を求めている利用者に対して、レファレンス担当者によって提供される人的援助である。現代の図書館では、各種のレファレンス資料を活用しながら、多様なレファレンスサービスを展開することが求められている。この講義では、広義のレファレンスサービスを対象として、レファレンスサービスの目的、構成、方法、各種情報源の利用法、参考調査図書館の組織と運営、等について総合的に解説する。	実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
GE80901	コレクションとアクセス	1	2.0	3・4	秋AB	月1,2	ユニオン講義室	吉田 右子	図書館におけるコレクション形成の意義と方法を、図書館資料の多様性とメディアとしての特質、資料選択に関わる理念と方針、収集と選択の方法、蓄積と保存と評価、出版制度と流通などの面から幅広く学ぶ。	
GE81001	教育文化政策	1	2.0	3・4					民族という視点から、ナショナル・アイデンティティや文化的アイデンティティの形成について学ぶ。教育の目的の1つに、これらアイデンティティの育成があることを踏まえ、アメリカとカナダを事例に学校、図書館や博物館等に焦点をあて、北米地域の歴史と文化の概要を学ぶ。北米地域の各時代を特徴づける思想との関連から、教育政策や文化政策の変遷について学ぶ。なお、比較の観点から日本の教育文化についてもあわせて考える。	2020年度開講せず。 実務経験教員
GE81101	メディア教育の実践と評価	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	7A104	鈴木 佳苗	メディアリテラシーの育成を中心に、国内外のメディア教育の現状と課題などについて概説する。	
GE81201	学校図書館論	1	2.0	3・4	未定	未定	未定	未定	本講義では司書教諭として、学校内において積極的に学校図書館実践を展開していくために必要とされる学校教育や学校図書館に関わる基本的な知識を身につけ、最終的には学校教育の目的と対応させた学校図書館実践について、学校経営の観点から受講者がアイデアを提示できるようにすることを目標とする。	開講時期は後日周知します。
GE81301	情報法	1	2.0	3・4	春AB	金3,4		高良 幸哉	ネットワーク社会において新たに発生するようになった法的諸問題に接しながら、法律学の体系に関する主要な概念や法理に基づいて習得し、ネットワークにおいて現実に発生している諸問題の現状と法的対応について講義する。	
GE81401	知的財産権論A	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	7A103, 7C103	村井 麻衣子	ネットワーク社会における著作権を中心に、特許等の知的財産権全般について学ぶとともに、図書館活動や各種の情報活動の観点から、知的財産権が持つ意義について学ぶ。	
GE81901	図書館文化史論	1	2.0	3・4	秋AB	金1,2	7A103	呑海 沙織	図書館の現在や未来を語る上で、図書館および記録メディアの歴史についての理解は不可欠である。本科目では、図書館とかわりの深い記録メディアの歴史を理解するとともに、海外および日本の図書館の歴史的発展、またその文化史的意義について学ぶ。	
GE82101	日本図書学	1	2.0	3・4	春AB	火3,4		綿抜 豊昭	我が国の古典籍の種類、形態、印刷・出版、蒐集、保存、和書の目録法などについて学ぶ。また、主要な古典籍所蔵館と古典資料の電子化の現状と課題、その意義についても学ぶ。	
GE82201	アーカイブズの構築	1	2.0	3・4	春AB	木5,6		白井 哲哉	日本アーカイブズ学の概説を論じる。アーカイブズ資料=記録資料(古文書・公文書等)、アーカイブズ施設(文書館・公文書館)につき、それらの意義と機能、歴史と現在を学ぶ。なお大災害とアーカイブズをめぐる問題を重視する。	GE72301と同一。 実務経験教員 知識情報システム専攻生はGE72301, それ以外の学生はGE82201を履修すること
GE82401	アーカイブズの利用	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	7A102	パールイシェフ エドワルド	アーカイブズと市民社会との深い関連性に注目しながら、アーカイブズ学の出現とその歴史的な変容プロセス、世界各国の記録保存施設の特徴とその多様性を形容すると同時に、アーカイブズの構築やその内面的な構造、保存記録の存在の在り方とその利用方法等について幅広く論じる。	GE72201と同一。 知識情報システム専攻生はGE72201, それ以外の学生はGE82401を履修すること
GE82601	パブリックガバナンス	1	2.0	3・4	秋AB	金5,6	7A205	小泉 公乃	パブリックガバナンス(共治)が、政治、政治哲学、公共経営、経営管理、図書館情報学など幅広い学問領域で議論されてきている。この中心には、市民とコミュニティが位置付けられており、知識・情報サービスを市民に提供する図書館はパブリックガバナンスの基盤となる。また、パブリックガバナンスの概念も情報技術の影響を受け、イーガバナンスなどの電子的な領域にまで拡張してきている。この授業では、パブリックガバナンスにおける図書館の意義・役割を学修する。	
GE82701	インターネット動画メディア論	1	2.0	3・4	秋AB	火3,4	7A205	辻 泰明	YouTuberが脚光を浴び、SNS動画アプリが流行するなど、インターネット上で配信される動画が、新たなコミュニケーションメディアとして台頭している。本講座では、インターネット動画メディアによる映像コミュニケーション革命の諸相について、体系的な知識と理解を得ることを目的とし、その生成過程から最新動向に至るまで、包括的に講義する。	GC54501と同一。 実務経験教員 情報メディア創成学類生はGC54501を, それ以外の学生はGE82701を履修すること
GE82802	PBL型図書館サービスプログラム開発	2	2.0	3・4	通年	応談		呑海 沙織, 松村 敦	WBS (Work Breakdown Structure) によってプロジェクトを構築し、図書館サービスプログラム(高齢者の認知症予防プログラム)のREP (Request For Proposal), 提案企画書等を作成し、発表, 相互評価を行う。	事前に受講説明会を開催しますので履修希望者は必ず集合してください。受講説明会後にTWINSへの履修登録が可能になります。知識学類生に限る。受講生は学研災付帯帯Aコースへの加入必須。